

伝統と革新の両立 老舗菓子店の挑戦



合資会社木村屋商店

本店 〒013-0021 秋田県横手市大町5-23 TEL. 0182-32-0700 FAX. 0182-32-7676
<http://yokote-kimuraya.com/>

黒漆喰塗の土蔵は国登録有形文化財指定
和菓子洋菓子が多数取揃う



食のチャンピオンシップ2019金賞受賞!



「秋田の顔」となる新商品を発掘するべく、県主催で毎年開催されている「食のチャンピオンシップ」。今年の食品部門で金賞に輝いたのが、合資会社木村屋商店の「いぶりがっこチーズキッシュ」だ。木村屋商店といえば1902年創業の老舗和菓子店で、横手市にある土蔵造りの店舗は国の登録有形文化財に指定されている。お菓子でありながらおつまみのものである不思議感覚の新商品は、伝統を守りながら時代に合わせた新しい味を模索し続ける山下淳一郎代表の飽くなき研究の成果でもある。

「いぶりがっこチーズキッシュ」は、完成まで3年もの時間を要した商品です。地元の名物であるいぶりがっこをお菓子屋としてどう活かせるのか。悩みながら試行錯誤を重ねてきました」。

納得のいく仕上がりで世に出した反響は大きく、既に多方面から問い合わせが相次いでいる。

ここでしか買えないものを

木村屋商店では素材と製造過程にとことこだわる。創業の原点ともいえる「柿羊羹」は当時の味を忠実に再現するため、素材である「横手柿」を山下代表自らが集めてまわるほどだ。

質を落とさない量産体制が従来からの大きな課題でもあったことから、一昨年（2017年）の工場移転と共に活性化センターの設備貸与制度を活用し、人気商品である「はたはたパイ」用の設備を刷新。小ロットに対応できる2台体制にしたことで焼き時間の短縮やムラが少なくなり、注文に応じてより効率の良い製造が可能となった。



「秋田県、そして地元の横手は豊富な素材に恵まれた地域です。今後も、その素材を活かし“ここでしか買えない商品”をお客さまに提供していきたいですね」。

現在は、地物の果物を使用したチョコレート菓子の開発に挑戦中。横手にお越しの際はぜひ風情ある店舗に立ち寄りてほしい。

活用事例

設備投資の支援

生産量の増強、新事業への進出等の経営革新、攻めの経営への転換を検討する企業に対して設備を割賦販売またはリースします。

お問い合わせ 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702